



帽子と刺繍によるアート展

— 新発想の帽子造形とテレマーク刺繍 —

南本恵子 × 南本泰子

2014年4月3日(木) ~ 8日(火)

AM11:00 ~ PM7:00 [最終日はPM4:00迄]

フランスの帽子コンテストで入賞経験のある作家とノルウェーのテレマーク大学で刺繍を学んだ作家、双子の姉妹による初めての作品展。
既成の木型を使用せず制作した帽子とテレマーク地方の影響を受け、生み出されたオリジナル刺繍作品。

南本恵子

1976年 10月	大阪府堺市生まれ
1999年 3月	同志社女子大学 生活科学部 人間生活科 卒業
2000年 4月	上田安子服飾専門学校 洋裁科 入学
2003年 3月	上田安子服飾専門学校 洋裁科 終了
2003年 12月	STUDIO HIRANO KYOTO JAPONにて帽子制作を学ぶ (2008年3月まで)
2005年~	K.minamimoto で帽子販売を開始し現在に至る
受賞歴	2007年 5月 フランス Atelier-Musée du Chapeau (Lyon 帽子美術館) 主催 インターナショナルコンテストで9位入賞
	2008年 7月 フランス Septfonds で開催された Concours du 16 Estivales du Chapeau で Hat Magazine 賞を受賞



今回の展覧会は、南本恵子さんと南本泰子さんによる、帽子と刺繍の2人展です。いつもは絵画や工芸を扱うことが多い中、帽子と刺繍という珍しい展示となりました。

展示方法は会場に入ってちょうど中央から右側に恵子さんの帽子が高低差をつけてランダムに配置され、左側は泰子さんの刺繍作品が壁に掛ける形で展示されました。会場の後方はパネルで仕切って別の空間をつくり、小物やアクセサリー等の販売もされました。

恵子さんの作品は、コンテスト用に制作された装飾がたくさんしてあるものと、実用性を重視した普段使いのものとの2種類あり、そのどれもが違う色や形のデザイン、様々な素材が使われているので、ひとつひとつが特別で興味深い作品でした。

泰子さんの作品は、ノルウェーのテレマーク地方に留学して学ばれた刺繍とデザインをベースに作られています。テレマークの伝統的な模様作品と、ノルウェーと日本文化を融合したオリジナルの作品の2種類があります。伝統的な作品にもオリジナルの作品にも植物や動物をモチーフにされていて、特にオリジナルの動物はとてもユーモラスで可愛らしい作品です。

帽子と刺繍という異なるジャンルですが、2人の作品は共通して、とても細かいところまで丁寧に作られています。こだわりのもって大切に制作されているのが作品を通してわかります。また、たくさん色がバランス良く使われているので、見るだけで楽しくなるような、そんな展覧会でした。

南本泰子

1976年 10月	大阪府堺市生まれ
1999年 3月	同志社女子大学 生活科学部 人間生活科 卒業
2004年~ 2006年	ノルウェー Mo og Jølster 専門学校に留学 ノルウェー刺繍、デザインの基礎を学ぶ
2007年~ 2010年	ノルウェー Telemark 大学 Folk art 学科 Textile 専攻に留学 学位取得
2011年~	ノルウェーと日本文化を融合した作品制作を続け、現在に至る

